



Y O K O H A M A
MINATOMIRAI
Information

21

みなとみらい21の計画概要と個別事業

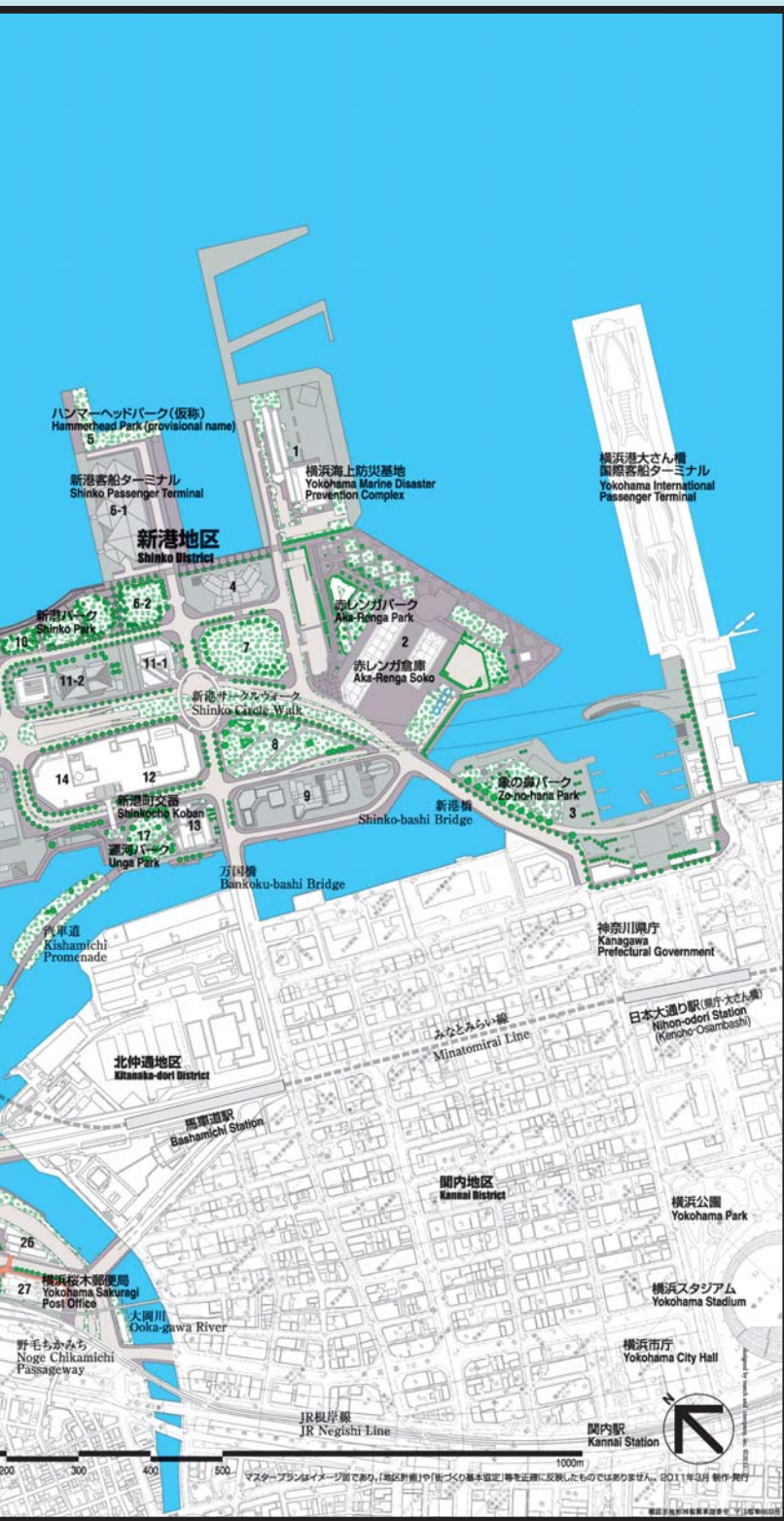
vol. **82**
2011



みなとみらい21 マスタープラン



マスタープランはイメージ図であり、「地区計画」や「街づくり基本協定」等を正確に反映したものではありません。



3 いつも新しい時代を目指す街「横浜」

5 みなとみらい21 計画の概要と街づくりの方法

7 基盤整備

- 7 ◆臨海部土地造成事業(埋立事業)
- ◆土地区画整理事業
- ◆港湾整備事業
- 8 ◆共同溝
- ◆地域冷暖房システム
- ◆内貿バス(耐震バス)
- ◆災害用地下水タンク

9 交通

- 9 ◆主要道路・鉄道
- 10 ◆幹線道路
- ◆バス・海上交通
- 11 ◆歩行者空間
- ◆近隣地区との一体化

12 公園・緑地

- 12 ◆赤レンガパーク(2街区)
- ◆象の鼻パーク(3街区)
- ◆新港パーク(10街区)
- ◆汽車道/運河パーク/ブルムナード(17街区ほか)
- ◆臨港パーク(19街区)
- ◆日本丸メモリアルパーク(23街区)
- ◆グランモール公園(35街区ほか)
- ◆高島中央公園(51街区)
- ◆高島水際線公園/水際線ブルムナード(64街区ほか)

13 機能集積

- 13 ◆パシフィコ横浜(横浜国際平和会議場)(18・22街区)
- ◆クイーンズスクエア横浜/横浜みなとみらいホール(24街区)
- ◆横浜ランドマークタワー/ドックヤードガーデン(25街区)
- ◆横浜みなと博物館(23街区)
- ◆クロスゲート(26街区)
- 14 ◆横浜桜木郵便局(27街区)
- ◆富士ソフトビル(27街区)
- ◆TOCみなとみらい(28街区)
- ◆県民共済プラザビル(29街区)
- ◆横浜銀行本店ビル(30街区)
- ◆日石横浜ビル(30街区)
- ◆みなとみらい21クリーンセンター(31街区)
- ◆けいゆう病院(32街区)
- ◆神奈川県警察みなとみらい分庁舎(32街区)
- ◆みなとみらいビジネススクエア(33街区)
- 15 ◆MMパークビル(33街区)
- ◆みなとみらいセンタービル(33街区)
- ◆みなとみらい34街区プロジェクト(仮称)(34街区)
- ◆横浜美術館(36街区)
- ◆三菱重工横浜ビル(37街区)
- ◆横浜メディアタワー(41街区)
- ◆リーフみなとみらい(42街区)
- ◆みなとみらいグランドセントラルタワー(42街区)
- ◆アルカエフ(44街区)
- 16 ◆横浜ジャックモール(45・46街区)
- ◆横浜ブルーアベニュー(46街区)
- ◆横浜野村ビル(仮称)(46街区)
- ◆横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール(48街区)
- ◆シンクロン本社ビル(49街区)
- ◆GENTO YOKOHAMA(53街区)
- ◆キャノン・キャッツ・シアター(57街区)
- ◆国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所(59街区)
- ◆横浜みなとみらいスポーツパーク(60街区)
- ◆マリノスタウン(61街区)
- 17 ◆富士ゼロックス R & D スクエア(65街区)
- ◆日産自動車株式会社 グローバル本社(66街区)
- ◆横浜三井ビルディング(67街区)
- ◆高層(都市型)住宅(39・40・41・50街区)
- ◆横浜新都市ビル/横浜スカイビル(68街区)
- 18 ◆横浜海上防災基地(1街区)
- ◆赤レンガ倉庫(2街区)
- ◆JICA横浜(11-1街区)
- ◆カップヌードルミュージアム(11-2街区)
- ◆横浜みなとみらい万葉倶楽部(11-3街区)
- ◆横浜ワールドポーターズ(12・14街区)
- ◆横浜国際船員センター「ナビオス横浜」(13街区)
- ◆よこはまコスモワールド(15街区ほか)

19 みなとみらい21 事業の経過

21 みなとみらい21 開発状況図

いつも新しい時代を目指す街「横浜」

横浜は開港以来約150年。日本を代表する国際港湾都市としての役割を担い、その機能は現在にも脈々と受け継がれています。横浜はその歴史的資産や丘・川・海の豊かな自然を活かしながら、活力ある自立した国際文化都市の実現を目指し、都市づくりを進めています。

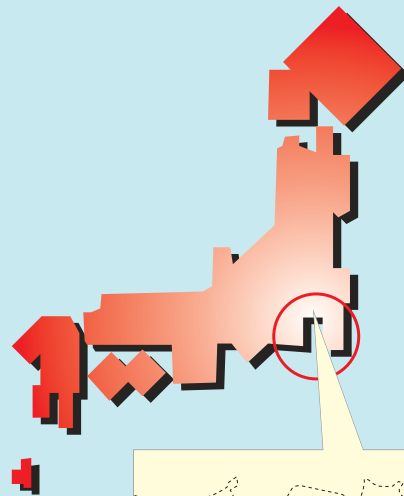


創造都市横浜

横浜は、1859年の開港以来、世界各国と人・文化・ものが交流することにより進取で開放的な気風が培われました。また、日本近代化の原点の地であり、国際的に開かれた都市として発展してきました。現在も、人口368万人を有する国際都市として成長を続けています。横浜には、日本有数の国際貿易港や、再拡張・国際化された羽田空港へのアクセスをはじめ首都圏の中でも優れた交通網があり、緑豊かな住環境や優秀な人材、首都圏という広大なマーケットなど、ビジネスに必要な都市環境が整っています。そして、2010年にはAPEC(アジア太平洋経済協力)首脳会議が開催されるなど、コンベンション開催の地として、また観光地として国内外から多くの方々が訪れ交流する、活気あふれる街でもあります。

特に、みなとみらい21地区は、高水準のインフラが整備され、歴史やウォーターフロントの景観を活かした街並みの形成など、快適なビジネス環境を備えた街として、年間5400万人が訪れ、6万7000人が働く、首都圏を代表する街として成長を続けています。

これからも、業務、商業の集積を図るとともに、開港都市としての歴史や文化の資産を活かしながら、文化芸術活動による都市の活性化を目指し、創造的産業や人材の集積を図るための都市環境を形成していきます。



横浜の現状

■ 面積	434.98km ²	〈2011(平成23) 2.1〉
■ 人口	3,688,779人	〈2011(平成23) 2.1〉
■ 世帯数	1,583,523世帯	〈2011(平成23) 2.1〉
■ 外国人登録数	77,596人	〈2011(平成23) 1末〉
■ 市内総生産	12兆9,733億円	〈2007(平成19)〉
■ 1人あたり市民所得	316万円	〈2007(平成19)〉
■ 横浜港の貿易額	8兆2,518億円	〈2009(平成21)〉
■ 民営事業所数	107,557事業所	〈2006(平成18) 10.1〉
■ 民営従業員数	1,271,937人	〈2006(平成18) 10.1〉
■ 外資系企業本社数	185社	〈2010(平成22)〉
■ 上場企業	112社	〈2010(平成22) 9〉
■ 大学数	12校	〈2010(平成22) 5.1〉
■ 短期大学数	6校	〈2010(平成22) 5.1〉